

# 「いたみセンター」のご紹介

4月に新たな中央部門として「いたみセンター」を開設しました。今回はQ&A形式で当センターの概要をご紹介します。

## ～「いたみセンター」って？～



Q1：麻酔科のペインクリニックはどうなりましたか？

A1：麻酔科外来にはペインクリニックと術前外来がありましたが、そのうちペインクリニックが多職種・集学的な組織に発展して「いたみセンター」になりました。なお、術前外来は従来どおりです。

Q2：どのような患者さんが対象ですか？

A2：従来どおり、急性痛、慢性痛の患者さんとも対象です。急性痛は痛みの経過が3ヶ月未満、慢性痛は3ヶ月以上です。病名では分けていません。

急性痛は、早期対応が必要なため、月～金の午前を受け入れています。予約は不要です。

慢性痛は、多職種の評価が重要なため、木曜午前の「慢性痛初診外来」で受け入れています。初診に2～3時間かかるため、週に1例の完全紹介・予約制です。麻酔科外来受付で予約を受け付けています。

Q3：難治例も紹介してよいのですか？

A3：平成28年度、名市大の「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成」プログラムが文部科学省の課題解決型高度医療人材養成事業に採択されました。学部学生から医療従事者までを対象に、慢性痛に集学的アプローチのできるプロフェッショナルを養成します。そのため、いたみセンターは教育を柱としており、難治例ではなく典型的な慢性痛の患者さんを主な対象としています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

Q4：どのような診療を行っていますか？

A4：いたみセンターには、麻酔科医、精神科医、リハビリ医、看護師、理学療法士、臨床心理士などの多職種が参加しています。毎週多職種カンファレンスで個々の患者さんに合う治療（神経ブロック、薬物療法、心理療法、運動療法・リハビリテーションなど）を検討し、各診療科と連携して診療を進めます。なお、原則として、診療後には患者さんは紹介元に戻っていただくことをご理解ください。

### 【当院スタッフへのメッセージ】

現代医療は慢性疾患が中心です。その中でも、慢性痛は集学的チーム医療が必要とされ、今後、チーム医療に加算がつく動きがあります。いたみセンターでは、そのようなこれからの分野に多職種チームでチャレンジしています。毎週のカンファレンスもとても良い雰囲気で行われており、参加者は目からウロコの学びを得ています。

### ご協力いただけるスタッフを募集中

いたみセンターで痛み治療に関わってみたいスタッフを募集しています。あなたのキャリアに必ずプラスになると思います。医師だけでなく、特に、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士の方、ぜひ気軽にご連絡ください！

少しずつ着実に、当学・当院の特徴的な組織になれるように頑張ります。みなさま、どうぞ応援くださいますようお願いいたします！



【いたみセンター】